

HINO GUARD[®]

ヒノガード

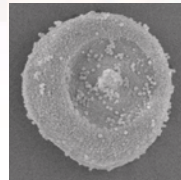
花粉付着防止加工

飛散した花粉でアレルギー症状に悩まされる花粉症は、代表的なスギ花粉症の場合で日本人人口の約10%に相当するといわれています。

花粉症の基本的な対策としては、①マスク・眼鏡等を着用して、しっかりとガードする。②生活習慣を見直し、花粉症に負けない体質を作る。③花粉を家の中に持ち込まない。などがあげられます。ダイワボウではこれらの花粉に対して、ナノ・テク粒子を用い、繊維表面上に花粉の付着を防止する加工を開発しました。

■ スギ花粉

スギ花粉の大きさは30~40μmの微粒子のため、花粉の付着防止・除去は非常に困難です。多い年で1シーズン4,000~10,000個/cm²飛散するといわれています。



特長

20~30nmの粒子径の特殊有機・無機化合物を生地に付与しています。繊維表面上にはナノ粒子の球状の皮膜を形成して平滑性が向上し、花粉の付着を防ぎ、付着しても簡単に脱落させる機能を持っています。

- 花粉が生地表面に付着しにくく、付着しても軽くたたけば脱落します。
- 綿などの天然素材にも効果を発揮します。

※ピーチなどの起毛製品には効果が劣ります。

性能

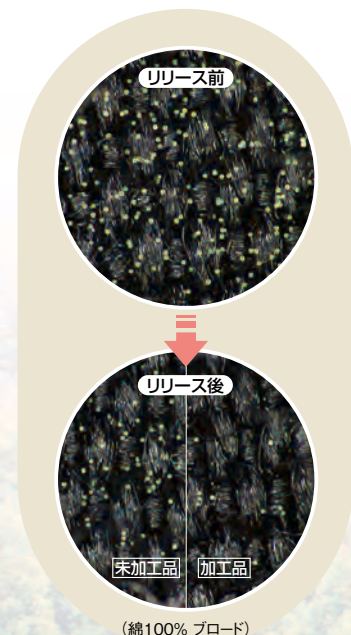
1. 評価方法 ● 花粉リリース性試験

生地に花粉を均一に付着させた後、所定の振動を加え、花粉をリリースします。リリース前後の状態をマイクロスコープにより撮影し、それぞれの花粉の数をカウントして次の式により減少率を算出します。

$$\text{減少率 (\%)} = \frac{\text{リリース前の花粉数} - \text{リリース後の花粉数}}{\text{リリース前の花粉数}} \times 100$$

2. 結果 ● 花粉減少率

	綿100% ブロード	綿100% ドビー
未加工品	33.2%	30.5%
加工品	84.4%	71.0%



(綿100% ブロード)